

3月議会報告（その1）



乳幼児の医療費無料化と30人以下学級の願い届かず！

こどもサポートネット大垣から出され、12月議会で継続審議になっていた「乳幼児の医療費助成制度の拡充と30人以下学級実現」の請願書は、再度審議するよう要請して厚生委員会と総務委員会で審議されました。しかし、両方の要求とも「継続審議」の名のもと否決されました。

「乳幼児医療費助成制度の拡充」は、自民党の議員から「無料化の年齢を1歳上げるのに9千万円かかるため無理」と出され、民主党も「継続審議」を主張しました。また、「30人以下学級」については、岐阜県は「少人数授業」をすすめているので大垣市もその方針に従い「スイトっ子プラン」で対応するとし、議員からは30人以下学級は“時期尚早”と発言があり、「継続審議」で否決しました。共産党の杉原議員はこの「継続審議」による否決に反対しました。

「少人数授業」では、学校教育の問題は解決できない！

岐阜県のすすめる「少人数授業」とは、国語や算数など特定の授業だけクラスを分割して行うものです。しかし、このやり方はこども達の中に差別や選別を持ち込む危険性があり、また同じクラスの子どもでも担任が教えた子どもと非常勤の先生が教えた子どもがまじっていて評価の統一が難しいなど、いくつかの問題点が出されています。また、学校は子どもの人格形成を目的とする場であり、子ども達の内面や生活丸ごと掴むことが大切で、「少人数授業」では限界があります。

平成15年度教育予算の重点はIT！？

平成15年度の教育関連予算をみると、少人数授業の「水都っ子プラン」は1785万円、一方「小・中学校教育用コンピュータ活用推進事業」は1億2841万円の予算が計上されています。(下記資料参照) コンピュータ導入が「30人以下学級」を差し置いても早急にやらなければならない事業でしょうか？

平成15年度 学校関連予算より (単位:千円)

水都っ子プラン 非常勤講師17人(小学校11人、中学校6人)	17,850
不登校対策など	25,854
小学校教育用コンピュータ活用推進事業 機器借上 22台/校 50,609 校内LAN用機器経費 5,616 学校管理データベースシステム保守ほか 4,081	60,306
中学校教育用コンピュータ活用推進事業 機器借上 42台/校 50,346 校内LAN用機器経費 14,907 学校管理データベースシステム保守ほか 2,859	68,112
その他のIT関連予算 ・小学校インターネット回線ブロードバンド化 ・小学校校内LAN工事実施設計委託 ・学校図書館情報化推進事業 ・調査研究事業(パソコン研修) ・教育情報ネットワーク事業	約59,000